

第377回三木市議会定例会 市長 開会あいさつ

令和5年9月1日

議会の開会に当たりまして、一言ごあいさつを申し上げます。

本日は、第377回市議会定例会を招集いたしましたところ、議員の皆さまにおかれましては、公私ご多用の中ご出席を賜り、誠にありがとうございます。

また、併せまして、平素から市政の運営につきまして、格別のご理解とご支援を賜り、厚くお礼を申し上げます。

さて、先月29日、「全国市町村長サミット2023 in兵庫」において、参加された全国の市町村長等に山田錦の館を視察いただきました。これは、2025大阪・関西万博における兵庫県の取組、地域の特色を生かした県内の地場産業や伝統工芸などの現場そのものを体験していただく「ひょうごフィールドパビリオン」の事例を視察いただいたものです。視察では、三木市の地域資源である酒米山田錦に触れていただくとともに、日本酒の試飲や金物に触れる体験など、三木市の魅力を体験いただきました。2025大阪・関西万博を契機として、兵庫県や

連携協定を締結した近畿経済産業局とともに三木の魅力を発信し、市内への誘客につなげてまいります。

また、先月、市のデジタル化の推進を目的として、ソフトバンク株式会社と連携協定を締結しました。これにより、市内のソフトバンク系列のスマートフォン販売店舗において、「みっきい☆健康アプリ」の説明や登録補助、マイナンバーカードによる個人認証の説明などを受けることが可能となり、「みっきい☆健康アプリ」がさらに利用しやすくなります。市民の皆さまがデジタル社会に慣れ親しんでいただく第一歩として、楽しみながら健康づくりに取り組める「みっきい☆健康アプリ」の普及を一層図ってまいります。加えて、スマートフォンなどのデジタル機器の利用が不慣れな方に対しては、現在各公民館においてスマホ教室を開催しています。同社からはスマホ教室への講師派遣にもご協力いただくなど、市のデジタル化の取組に対し、幅広くご協力いただきます。このように、民間事業者との連携によりデジタル化の取組を進めることで、市民サービスの向上につなげてまいります。

1 1月4日、5日の2日間には、今年も三木金物まつりを開

催します。昨年は、新型コロナウイルス感染防止のため、「ハーフスタイル」と銘打ち、規模を縮小しての開催となりました。今年も、昨年度中止していたステージイベントが復活し、コロナ禍以前の通常規模の開催をめざして、準備を進めています。メイン会場である「三木山総合公園」では、金物展示直売会やびっくり市、農産物市場を開催するほか、山田錦振興プロジェクトや北播磨農と食との祭典を開催する「かじやの里メッセみき」、ステージイベントや芸能祭等を開催する「三木市文化会館・みっきい広場」と、3会場での開催を予定しています。多くの方にご参加いただき、盛大なまつりとしたいと考えていますので、どうぞご期待ください。

このたびの市議会定例会では、条例関係9件、補正予算5件、決算の認定が7件、その他1件、併せて22件の提案を予定しております。

また、後日、人事案件3件の提案を予定しております。

議員の皆さまにおかれましては、どうか慎重なるご審議をいただき、ご賛同を賜りますようお願い申し上げます。開会のあいさつといたします。